

“搾取”され続ける人生からの脱却

ヤバい世界の裏話

王騎

まえがき

どうも、王騎です。

僕は仕事柄、起業家や経営者、投資家などの人脈が多いです。

中には会社を何社も上場させた経験がある人だったり、

100億以上持っていたり、

資産が毎年勝手に増えていくので、もう完全にリタイアして今は毎日ゴルフして遊んでるおじさんとか、そういう人たちとも仲良くさせて頂いてます。

で、今回このレポートでお伝えしたいのは、

そんな最強レベルの人たちから聞いた、

『ヤバイ世界の裏話』です。

この世界が本当はどんな仕組みで動いているのか。

今後日本で一体どんな問題が起こるのか。

その問題に対して、今からどのように対処していけばいいのか。

「年金制度が崩壊する～」

「仕事がなくなる～」

そんな表で話してるレベルではなく、

完全に裏でしか話せないような

「ヤバイ話」を書いたレポートになっています。

読めば今日本がどれだけ危機的な状況にあるのか

理解できると思いますし、

じゃあそこから僕たちがどうやって

理想の生活を実現させれば良いかもわかります。

令和の時代になり、今世界が大きく変わろうとしています。

このレポートがそんな変革の時代を生き抜くための道標になれば幸いです。

【裏】ヤバい話①・・・日本の国家予算

まずは日本の国家予算に関する裏話をお話します。

日本の国家予算は現在年間で約100兆円とされています。

(この国家予算はなぜか毎年「100兆円」と決められているんですが、ぶっちゃけこんなにいいりません。その理由もおいおい話して行きます。)

で、この国家予算の主な資金源が、僕達国民が収める税金になります。

だいたい約60兆円が毎年税金によって賄われていると言われています。

「ん？じゃあ残りの40兆円はどこから来ているんだ？」

実は、残りの40兆円は、日本政府が国債を発行することによって賄われているんですね。

ようは、毎年政府は40兆円もの「借金」をして、予算を確保しているわけです。

ちなみに、国債を購入するのは、日本の銀行です。

おそらくあなたも銀行にお金を預金していると思いますが、僕達が銀行に預けているお金の一部が、国債を買うために使われているんです。

結果、日本の借金は1100兆円まで膨れ上がっています。

毎年40兆円も借金してるんですから、当然ですよ。

国民一人あたりの借金に換算すると、実に800万円以上・・・。

まあ、とんでもない数字だということは誰が見ても明らかです。

しかし、実はこれは”表向きの話”で。

国家予算100兆円は俗に「一般会計」と言われる予算で、
この他に実は「**特別会計**」と呼ばれる”秘密の予算”があるんです。

その額、なんと一般会計の倍の約200兆円。

だから、日本の本当の国家予算は表の国家予算100兆円と合わせて、全部で300兆円になると言われています。

と、言うことはですよ。

特別会計の200兆円を入れて考えたら、日本の借金は1100兆円なんかじゃすまないんじゃないか？
って話になるわけです。

で、ここからが本題なんですが、
この200兆円もある特別会計、

実は一体何に使われているのか、よくわかっていないんですよ。

これ、普通に考えてヤバくないですか？苦笑

こういうことに使われてるんじゃないか？

って言う説はいろいろとありますが、なんか怪しい臭いがプンプンしますよね。

一体誰が何かに使っているのか？

最近だと東京オリンピックの予算がどこかよくわからない所へ消えたり、

年金が勝手に使い込まれてるんじゃないかと疑われてたり、

そういう話ってよく聞きますよね。

「使途不明金」ってやつです。

本来、国のお金は誰もが納得する使われ方をされなきゃいけないのに、

誰かに悪用されてる節が多々あるってことです。

で、こうした国のお金を管理してるのが財務省なわけですが、

彼らはマスコミに特別会計のことなどは、一切報道させません。

逆にマスコミを操作して国民に

「国家予算てそんなもんなんだ」と思い込ませ、洗脳しているわけです。

1100兆円の借金についても、

マスコミはしきりに「国の借金が膨らんでヤバい」と言いますよね。

でも、本当はあれは国の借金でも

日本の借金でもなんでもなく、

あくまで「**政府の借金**」なんですね。

政府がしくじって借金を背負ったのにも関わらず、

国民にツケを払わせようとしているわけです。

このように財務省は国民に平気で嘘をついたり、

でっち上げたりしまくってるかなりヤバいところです。

僕達からしたら「ふざけんな！！！」って思いますよね。

しかし、一体なぜ財務省は国民に嘘を付くのか？

そして、なぜマスコミは財務省の言いなりなのか？

もちろん、そうすることで得する人間がいるからなのですが、
ここらへんの構造を、さらにいろんな事象を交えて、
より詳しく解説していきますね。

【裏】ヤバい話②・・・税金

2019年10月からいよいよ消費税が10%に増税されます。

税金を払うのは国民の義務だと思ってる人たちって多いですね。

現に、サラリーマンをしていたら給料は税金分が引かれて振り込まれるわけですが、そのことに疑問を持つ人は少ないと思います。

そして、所得税は累進課税ですから、
お金持ちほど莫大な税金を払って国家のために貢献していることになります。

しかし、実際のところお金持ちは、

**あまり税金を払っていないって言ったら、
あなたはどう思いますか？**

現に、あのAmazonは連邦税を免除されて払っていないというのは有名な話です。

ちょっと昔に「**パナマ文書**」っていうのが話題になりましたよね。

パナマ文書とは、モサックフォンセカという法律事務所が作成したもので、そこには税金を払うことを回避していた政治家や官僚、経営者、芸能人、アスリートなどの高額所得者のリストが約40年間分もファイリングされていました。

そのデータが世に出たことで、**世界中の億万長者たちが税金を払ってないことがバレてしまいました。**

で、パナマ文書関連の話になると、必ず「オフショア」や「タックスヘイブン」というキーワードが一緒についてきますが、それらをきちんと理解すれば、

税金の支払いは、合法的に回避できる

ということがわかるわけですね。

オフショアで有名なのは、例えばバージン諸島なんかがあります。

ここでは法人口座を匿名で作ることができるのですが、

その場合、ヨーロッパ圏で仕事をしなければ、本当に税金を払う必要がないんです。

だから、賢いお金持ちたちはまずはシンガポールなんかでペーパーカンパニーを作り、その後バージン諸島で法人口座を開設。

実質的な業務はヨーロッパ圏以外で行い、税金を回避する。

こんなことを実際にやっていたわけです。

こうした事実を、僕たちはもっと知るべきです。

メディアが垂れ流す嘘を盲信し、常識に流され、世の中を正しく見ようとしない人は、これまでも、そして今後も損し続ける可能性が極めて高いです。

しかも、はっきり言って、
増税したからと言って日本の景気は良くなりません。

むしろ悪くなります。

というか、そもそも増税したところで税収は上がらないんですよ。

なぜかと言うと、消費税が上がると、国民の購買意欲が減退して、かえって消費量が減ってしまうから。

結果的に税収は増税前より下がるんです。

いや、そんなのやってみないとわからないんじゃないか・・・
と思われるかもしれませんが、

**日本では1997年の橋本政権時に消費税を3%から5%
に増税した結果、
翌年には租税収入が4兆円も減っています。**

1990年に消費税を導入した時も、1997年に消費税率を5%に上げた時も、税収は一瞬だけ上がりましたが、それから間もなくして深刻なデフレ不況に陥り、税収も落ち込みました。

増税したら全体の税収は減る。

しかも、

「消費が減る→企業の売上げが減る→給料が減る→さらに消費が減る」

という悪循環が、少しずつ進行していくので景気は悪くなる。

小学生でもわかる簡単な理屈ですし、日本や過去に増税した他の国の歴史を見れば、火を見るより明らかです。

こうしたわかりきった事実を、日本のマスコミは一切報道しないわけですね。

さっきも言ったように、マスコミは財務省の言いなりだからです。

マスコミは財務省の天降りで、マスコミは”ポチ”とされています。

”財務省の犬”という意味です。

だから、マスコミは真実を報道することではなく、すべては財務省のシナリオ通りに動いているわけです。

財務省はマスコミを使って嘘ばかりついでおり、国民に正確な数字を伝えていません。

でも、ここで1つ疑問が生じますよね。

一体なぜ財務省はそこまでして国民に真実を隠し、増税という日本全体が貧しくなるようなことをするのでしょうか？

答えは簡単で、
増税に成功した官僚は出世するんです。

ただ、普通に「増税します」と言うと多くの方は嫌がりますよね。

だから、彼らはマスコミを使って「国の借金がヤバい」と嘘の情報を垂れ流して国民を洗脳し、
なんとか僕たちに「増税するのもしょうがないか」と思わせる努力をしてるんです。

もうおわかりの通り、
多くの官僚は自分の生活が第一で、日本をよくしよう
とか、
国民の生活を良くしようなんてことは、1ミリも考え
ていません。

むしろ、国民が豊かになることを望んでいません。

日本が良くなる＝政治家や官僚が豊かになるわけでは
ないからです。

だから、彼らは自分たちの好き勝手にやっちゃってる
わけですね。

国民が一致団結して財務省に反旗を翻したら、まだ日
本が変わる可能性はありますが、
残念ながら、そうはならないでしょう。

ほとんどの国民は自分の国が
一部の私欲にまみれた人間の手によって、
蝕まれてることに気づいてないですからね。

一方、一部のお金持ちたちは、財務省のこうした狙い
に気づいています。

お金持ち同士でもこういう「裏側の話」をするので、メディアのプロパガンダを鵜呑みにしません。

しかも、たとえいくら税金を払おうと、自分たちにとってあまりメリットがないことも知っています。

だから、お金持ちは自分が稼いだお金をただ国に取られるのは嫌なので、いろいろ対策するわけです。

お金持ちの基本的な思考として、

「自分に見返りがないとお金は使わない」 というのがあります。

だから、彼らは時にルールを平気で無視したりします。

節税や、時には脱税までもガンガンやります。

中には普通に捕まるレベルのことをやっているのに、黒い力が働いて捕まらない人もいます。

非常にアンフェアな世界です。

お金持ちたちは時に財団を立ち上げたり、たくさんのお金を寄付したりしますが、そうした社会貢献やボラ

ンティアでさえ、ブランディングだったり広告だったり、
もしくは周りから評価されることで自己重要感が満たされたりなど、
何かしらの目的が合って、打算的に考えてやってる場合がほとんどです。

政治家とお金持ちの癒着も普通にあります。

実際、それによって自分たちに有利になるように法律が変わったり、税制が変わったりすることもあります。

本当に弱肉強食の世界です。

大前提として、

お金持ちと庶民は考え方が180度違うということです。

自己啓発本なんかだと、お金持ちはマインドが高いとか、綺麗に語られることが多いですが、ようはずる賢く、目的のためには手段を選ばないってことです。苦笑

感情論ではなく合理性を追求する。

そんな「狡猾さ」がなければ、本当のお金持ちにはなれません。

自分だけでなく、もっと国を良くしていこうという精神性の高いリーダーが出てきてくれたら良いんですが、今のままでは正直厳しいですね。

だからこそ、自分の身は自分で守るために、一人ひとりが考え方を変えていくことだったり、力をつけていくことが大事なわけです。

【裏】ヤバい話③・・・利権

日本がかなり問題だらけというか、政治家や官僚、もしくは企業など、一部の人達が得する（儲かる）ように、何もかも動いているのはよくわかったと思います。

国家予算にしる、税金にしる、普通に考えたら、どう考えてもおかしいだろ！ってことが平気でまかり通ってたりするわけですね。

では、一体なぜこんなおかしいことが起こるのか？

そもそもの発端はこの世界が「資本主義」だからです。

資本主義というのは簡単に言ってしまえば、
「お金をたくさん稼いだやつが偉い」世界のことです。

だから、上流の人たちは当然のように、もっともっと
お金をたくさん稼ごうとします。

それが「良し」とされる世の中ですからね。

でも、お金の総量は限られているので、莫大なお金持ちがいるということは、その一方でとんでもなく貧乏の人もいるということ。

資本主義の本質は「格差」です。

僕達日本人からしたら「格差が広がるなんてけしからん！」って感じですが、世界的には見たら格差はあって当然のものです。

資本主義がそもそもそういうものですから。

だから、資本主義が続く限り、格差は永久になくなりません。

そう考えると、資本主義には問題点がたくさんあります。

ただ、かと言って、資本主義よりいいルールがあるかと言われると、今の所ありません。

資本主義へのアンチテーゼとして、ソビエト（旧ロシア）や中国など、格差が生まれない「共産主義」の国もできましたが、上手く行かずに国が荒んでいくのは残念ながら歴史が証明してしまいました。

お金を稼ぐのが必ずしも悪いことではありません。

むしろ、基本的には良いことです。

お金を稼ぐためには、原則、商品やサービスなど、何らかの価値を相手に提供する必要がありますよね。

だからこそ、ここまで様々な便利な商品やサービスが生まれ、経済が伸び、文明が発展し世界は豊かになったんです。

会社の社長は従業員をこき使って、利益を独占してるなんて言われますが、そもそも会社がなければ働き口がないので、たくさんの方が露頭に迷うことになります。

こう言ったことから、資本主義は確かに悪い部分もありますが、良い面も多いと言えます。

ただ、お金を稼ぐには、価値を提供する以外にもう一つ方法があって、それが「**利権を取る**」という方法です。

**一部の政治家や官僚、もしくは国や企業や億万長者だけが得をし、
明らかにおかしいことがまかり通るのも、
すべてはこの利権が絡んでいるからに他なりません。**

既得権益とも言い換えられますね。

たとえば消費税というのも、ある意味国が持ってる利権と言えます。

何もしなくても勝手に売れた商品の値段の8%が入ってくるわけですからね。

もしこの利権をあなたが持っていたら、、、最高ですよね？

こういう巨万の富を生む利権を、国や国以外の誰かが抑えてたりするんですね。

他にも有名な所だと、ロスチャイルドやロックフェラーが抑えてる『ガン利権』があります。

もし、ガンが簡単に治ったら、ビジネスとして儲からなくなってしまいます。

だから、わざと特効薬や本当に効く治療法等の情報は開示しないことで、抗ガン剤やガン保険で巨額のお金を儲けようというわけですね。

まったく嫌な話です。

でも、現実問題、こういう利権を誰が抑えるのかで、世の中は見えないところで確実に動いてると言えます。

利権を取ればお金を稼ぐのは超簡単です。そして莫大な富が手に入ります。

だから、お金持ちたちは皆この利権を取りたくて仕方がないわけです。

金融の世界でも、利権を取ろうと多くの人が名乗りを上げています。

最近はまだまだ未成熟である仮想通貨関連の利権を取ろうとして、ヨーロッパの国々と、ロシア、中国、アメリカなどが対立しています。

まさに国家間で「経済戦争」が勃発している状態です。

誰が、もしくはどこの国や組織が利権を取るかで、世の中のルールが変わってくるので、こうした経済戦争には僕達も注目していくべきですね。

日本がよくなるにはこれからどうすればいい？

と、言うわけで、暗い話が続いて気分もどんよりして来てしまったかもしれませんが、

ここからは、じゃあ、日本がこれからまた復活して豊かになるにはどうすればいいのか？

と、言うことを考えて行きたいと思います。

やり方は1つしかなくて、

「日本のGDP（国内総生産）を上げる」 ことです。

GDPを上げる施策は主に3つあります。

1つは、働き盛りの人口を増やすこと。

日本は今、高齢化社会で、若者が高齢者をいかに支えていくかが鍵になっています。

そこで、働き盛りの人の数を上げるためにどうすればいいのか。

方法は2つで、

1つが

- ・ 子供を増やすこと。

子供が生まれた家庭に対してほんとに手厚い保証をするなど、
多くの人が安心して子育てできる環境を作っていくというのが1つ。

もう1つが、

- ・ 移民をもっとガンガン入れる

ということです。

今現在も日本に移住する人は増えてますが、
それとは比べ物にならないくらい、簡単に移民を受け入れるようにします。

僕も海外に行った時に現地の人と話をしたりしますが、

まだまだ日本に移り住むというのはいろんな意味でハードルが高いそうです。

だから、日本に住みたいという若い人がもっとすぐ日本に来て、もっとすぐに暮らせるように整備していけば、移民が増え、今よりもGDPは上がっていくはず
です。

で、GDPを上げるための施策の2つ目は、有効投資をすることです。

日本政府も年金とかをかき集めて投資してるわけですが、
はっきり言って全然有効投資できていません。

雑魚ですか？素人ですか？ってところにばかり多額の投資をしてて意味がわかりません。苦笑

そこらへんの保険会社の投資担当の人の方がよっぽど上手く運用できるんじゃないかと思います。

多額の資金を上手く投資して利益を出せば、日本の経済は今よりもっと豊かになるんですけどね。

ただ、運用の仕方が明らかにおかしいので、

上手く投資できないのではなく、あえて、していないんじゃないか・・・。

ここでもまた利権の匂いがしますね。

そして、GDPを上げるための施策の3つ目は、

優秀な経営者を増やすこと。

中小企業の経営者がもっと生産性の高い事業を立ち上げ、しっかり納税してもらうことが、非常に大事になります。

でも、残念ながら、日本では優秀な若い経営者が全然育っていません。

日本に若くして有名で、実力が合って、本気で日本のことを考えてる経営者って誰か思い当たりますか？

ぶっちゃけ、ぱっと思い浮かばないですよ。

40代、50代になると、ようやくちらほら名前が上がるくらい。

ただ、優秀で若い経営者が日本にまったくいないかって言ったら、
いるにはいるんです。

が、そういう人は日本をさっさと出て海外に移住してしまうんですよ。

日本は税金が高く、お金持ちにとっては住むメリットが少ないので。

だから、そういう優秀な人をつなぎとめるためにも、日本はもっと税金を下げた方がいいです。

税金が安ければわざわざ国外に出て、海外で法人を作る理由がなくなるので。

僕の周りにはかなり稼いでる人でも、役員報酬を調整して年収を1000万円くらいに設定してる人が多いのですが、その理由は「累進課税」だからです。

僕は以前、年収を3000万円くらいに設定していたときがありましたが、これだと約半分が税金で持っていかれてしまいます。

年収1000万に落とせば、税金も安くなります。

「いや、国が大変な時に何やってんだ。稼いでるんだからもっと納税しなきゃダメでしょ」

と、言う人もいますが、その発想がおかしいんですね。

**必要な税収が決まってるんだったら、
今より国民の総生産を上げていって、
低い税率でも賄えるようにするべきです。**

そうしたら今より経済も活性化して、国民の生活も豊かになります。

そういう社会を作っていくべきです。

国家予算自体、今はかなり無駄なところに使われてるんですよ。

「いや、そこにお金いらないでしょ？」みたいなところにジャブジャブ使われてたり。

だから、国家予算だって今よりもっともっと下げられるはずなんです。

しかし、これも裏で利権の甘い汁を吸ってる人間がいるから変わらないんですよ。

政治家が力のある企業に甘い蜜を吸わせることで

「次の選挙よろしくお願いします」とアプローチをかけたたりしてるわけですね。

何度も言うように、そういう「国より自分が大事な人」が今の日本のリーダーなのです。

このまま行くと、僕達が老後を迎える頃には、かなりヤバくなってるでしょうね。

本当に自分の身は自分で守れるようにならないと、国は助けてくれません。

今のところ日本はまだまだ強いです。

海外に比べたらホームレスだって全然少ないですし。

しかし、財務省がこのまま権力を振りかざしていけば、どんどん貧しくなっていくのは目に見えています。

国の力が弱くなると、年配の人や、サポートが必要な人への社会保証ができなくなりますよね。

ご飯を食べれない人が増えたり、
医療を満足に受けられない人が増えたり、
ホームレスの人が増えたり。
そんな未来が来ると、本当にヤバいです。

被災地の人とかも今まで援助してもらえてたのが、援助ができなくなったり。

さらに、間違いなく、日本の防衛力も今後弱まっていくでしょう。

平和であることはむちゃくちゃ大事です。

それは言うまでもありません。

だけど、平和＝戦わずに相手の言いなりになることじゃないですよ。

武器を持たずに弱くなったらダメなわけです。

でも、今の日本は現状、どんどん弱体化してしまっています。

核などで脅されてるのを見ればわかるように、将来、日本が他国に侵略されて日本でなくなる可能性も十分にあります。

今日本には中国人がどんどん増えて来ています。

彼らはただ観光で日本に来てるわけじゃありません。

実は今、中国人に日本の重要なところがどんどん買われてるんです。

日本がどんどん中国化してるわけです。

このまま行くと、数年後はもう日本は中国になってるかもしれません。

そのくらい今の日本はヤバいわけです。

たくさんの国が破綻していますが、データを見る限り実質的にそうした国よりも今の日本の方が財政状況が悪かったりしますからね。

一番ヤバいのは、こんな状況になっても、日本を良くしようと思ってる人がほとんどいないということです。

ほとんどの人はメディアの嘘を本気で信じ込んでおり、非常に楽観的。

だから、ぜひあなたには、自分の将来をもっと真剣に考えて、来たるべき未来に備えてほしいと思います。

あなたが豊かになるためにやるべきこと

じゃあ、具体的に何をどう備えれば良いのか？

結論、自分の力でお金を稼ぐ力を身につけるしかありません。

ビジネスで稼ぐならマーケティングとセールス力。

投資で稼ぐなら

トレードスキルと金融リテラシーを
本気で、徹底的に勉強して身につけることです。

あとはとにかく最新の情報を得ること。

世界情勢から、市場のトレンドの変化まで、
最新の情報をちゃんと追えてないと、
いざ目の前に儲けのチャンスが飛び込んできても、
それがチャンスとすら気づけ無いため、
ものにすることができません。

情報こそが最強の武器です。

情報を制す者がビジネスでも投資でも勝ちます。

逆に、これからの時代は情報に投資しない
怠慢な人間には「死」が待っています。

大げさでもなんでもなく、
この世界の真実に気づけない人達はこれからも
支配者層にどんどん搾取され、
多くの大切なものを失ってしまうのです。

あなたが情報に投資し、脳みそを鍛え、
この混沌とした時代を強く賢く生き抜けることを祈っ
ています。

王騎